



令和8年 2月 27日(金)  
静岡 大学 教育学部  
附属 静岡 小学校  
2年 学年だより 3月号

## クラスでつくり上げた「つどい」 感謝を伝えた「6年生を送る会」

2月6日に2年生のつどいが行われました。これまで他学年のつどいを見てきた経験を生かし、自分たちのクラスの文化や、大切にしていることを基に内容を考えたり、伝えたいことがより伝わるように発表の仕方についても話し合いを重ねたりしました。ときには意見がまとまらず思い悩む様子もありましたが「つどいキャプテン」を中心に自分たちの大切にしてきたことや、伝えたいことをブラすことなく、ひたむきに練習を進めました。本番当日は、大勢の観客を前に緊張している様子もありましたが、どのクラスも自分たちがつくり上げてきたつどいを全力で披露していました。つどいの後には「見ている人によかったと言われて嬉しかった」「緊張したけど大きな声で発表できた」「練習をたくさんやってよかった」「演技をよくしたり工夫したりしてよかった」と本番の出来だけでなく、本番までの過程を振り返る姿がありました。また、他のクラスの発表に対しても「自分のクラスとは違う発表の仕方だったけど分かりやすかった」「分かりやすく工夫している場面がたくさんあった」「伝えたいことが伝わるようにストーリーが工夫してあった」など、互いのよさに気付き合う様子もありました。本番に至るまでの過程で、よりよいものになるように子どもが自分たちで話し合いや練習を重ね、つくり上げた姿やその過程に価値を見出し、次につなげようとする姿から、つどいに限らず、様々な場面で子どもが自らつくり上げる力の高まりを感じました。

6年生を送る会でも子どもたちの素敵な姿が見られました。計画の際には、会に向けてキャプテンを中心にどんな出し物にするのかを話し合い、歌のプレゼントに決めました。「歌詞に『ありがとう』が入っている曲がいいんじゃないかな」「言葉を知っている曲なら6年生も嬉しいと思う」など、6年生に感謝の気持ちを伝えることを意識した発言が多く挙がりました。曲が決まってからは、歌の練習を何度もしました。よりよい出し物にするために授業の時間だけでなく、休み時間にも練習する姿がありました。当日は、6年生に歌と言葉で堂々と感謝と応援の気持ちを伝えることができ、大変素敵なものでした。会の後の振り返りで、子どもたちからは「6年生と一緒に歌ってくれていた」「6年生が嬉しそうに聞いてくれていた」と6年生の反応から達成感を得ている発言もありました。このように、子どもたちが6年生を送る会に向けて「6年生のため」という相手意識をもち、よりよい出し物になるように話し合いや練習を重ねたことは子どもたちにとって価値あるものになったと思います。子どもたちがこれからも多くの人と関わりをもつ中で、今回の経験がつながっていくことを願っています。

2年生がもうすぐ終わります。つながりの子どもたちは、授業や生活、行事などから学び得たことを次へ次へとつなげて成長してきました。今後もまた、これまでの歩みをこれからのつなげ、さらにさらに大きく成長して行ってほしいと願っています。

保護者の皆様、いつも温かなご支援ご協力をありがとうございます。残りわずかとなりますが、よろしく願います。